

証券コード 6246

第92期中間報告書

2025年4月1日から2025年9月30日まで

Techno Smart

Changing Life with Coating Technology

Technical Synergy Center

CONTENTS

Top Message	1	トピックス	7
財務ハイライト	2	業績の概況	8
事業の概況	3	株式の状況	9
事業紹介	5	会社概要	10

株式会社 テクノスマート

株主の皆様へ

Changing Life with Coating Technology

「塗工技術で生活に変化を」

私たち『株式会社テクノスマート』は、「塗工」・「乾燥」で世界の人々に貢献できる企業を目指します。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。当社第92期（2025年4月1日から2025年9月30日まで）の事業の概況につきまして、ご報告申しあげます。

当中間会計期間における経済環境は、海外ではロシアによるウクライナ侵攻の長期化や中東情勢の緊迫化といった地政学リスクの高まりに加えて、各国の通商政策等の影響など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

わが国経済は為替変動の影響で不透明感はあるものの、景気の停滞期間を抜けて緩やかに持ち直しの動きがみられました。しかし、物価高の動きは依然歯止めが効いておらず、賃金は上昇傾向にあるものの実質賃金がマイナスで推移しております。

当社の主な販売先である電気自動車（EV）市場は、依然として需要拡大が鈍化しております。しかしながら、欧州におけるEUの環境規制強化と政府のインセンティブ政策（購入補助金や税優遇措置）が今後のEVの販売促進に影響することや、生産ラインの整備、工場の新設や拡張などの製造設備への投資の動きも見られることから、長期的なEVの需要は拡大すると見込まれております。また、車載用全固体電池の開発が数年の間に試作品から商業化へと移行する段階にあり、自動車業界でも全固体電池を搭載したEVの計画があることから、EVの普及が期待されています。

このような状況下において、当社はエネルギー関連機器において中長期的な成長が見込まれる車載用リチウムイオン電池関連の塗工乾燥装置をはじめ、全固体電池や燃料電池用塗工乾燥装置の受注強化に取り組んでまいりました。今後もエネルギー関連機器に加え、液晶ディスプレイヤやスマートフォン、タブレット端末等に用いられる光学フィルム及び各種機能性フィルムや半導体・電子部品用途の塗工乾燥装置の受注強化に取り組んでまいります。

その結果、売上高は12,547百万円（前年同期比66.6%増）、営業利益は、2,386百万円（前年同期比63.2%増）、

代表取締役社長

飯田 陽弘



経常利益は2,395百万円（前年同期比60.9%増）、当期純利益は1,522百万円（前年同期比53.4%増）となりました。

受注高は、8,176百万円（前年同期比40.5%増）、その内輸出受注高は5,652百万円（前年同期比49.2%増）となりました。受注残高は19,913百万円（前年同期比33.9%減）、その内輸出受注残高は11,835百万円（前年同期比32.4%減）となりました。

EV市場の需要の鈍化を受け、当社の顧客でも設備投資の延期や鈍化の動きが見られます。車載用リチウムイオン電池関連で商談中の案件もいくつかありますが、顧客の発注時期が不透明であり、今すぐに回復基調とは言えない状態が続いている。一方、国内・海外ともにディスプレイ部品関連機器は需要が高い状況が継続しており、機能性フィルム関連塗工機器も底堅く推移する見通しです。今後の市場と顧客の動向を注視し、新エネルギーとして期待される種々の電池関連の生産機、試作機などの受注活動に注力してまいります。

新規受注のためには価格競争に加えて、顧客希望納期への対応が必要となります。半導体問題に端を発した電装機器の長納期化は概ね改善されました。また当社滋賀事業所において新実験機が稼働したことにより、顧客とのサンプル製作までの期間短縮が期待されます。納期検討においては顧客希望納期を十分に認識し、業務の効率化と生産量確保に努め、引き続いて納期短縮を進めてまいります。

このような中、光学フィルム関連設備と合わせて、今後の成長に期待のかかる二次電池、燃料電池などのエネルギー関連業界に対する更なる販売強化と、全固体電池などの応用分野の開発に顧客と一緒に取り組み、次世代通信向け新素材等を含めた新技術に対する情報収集とともに、積極的な取り組みにより営業展開の幅を広げてまいります。

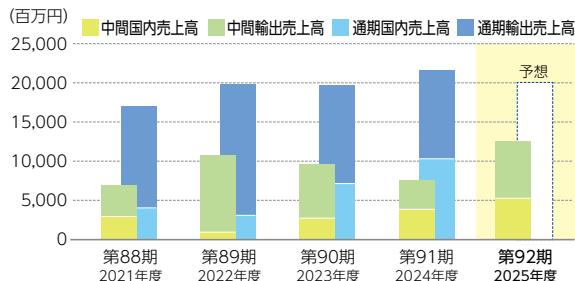
2025年12月

財務ハイライト

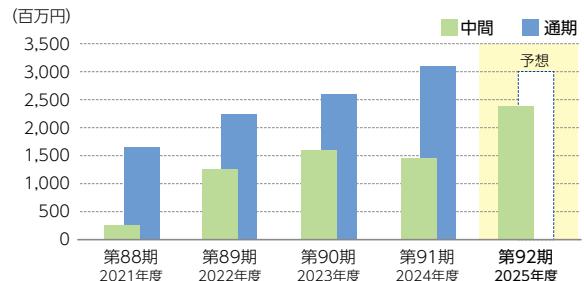
5年間の推移

売上高・各種利益とも前年比で増加。受注強化に取り組む。

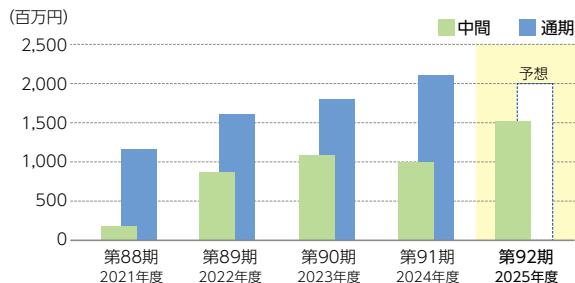
国内売上高・輸出売上高



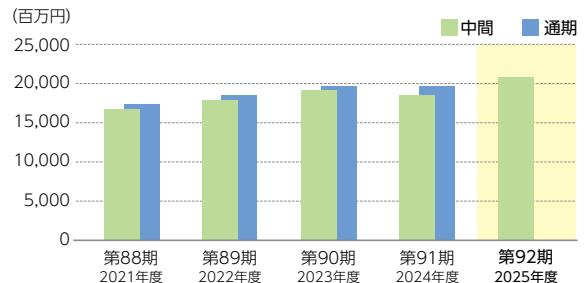
営業利益



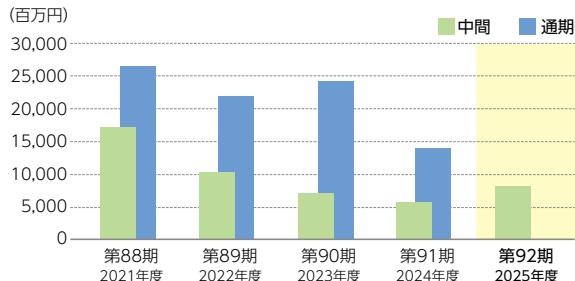
当期純利益



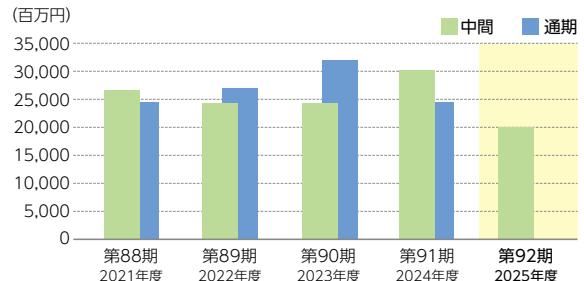
純資産額



受注高



受注残高



2026年3月期 業績予想

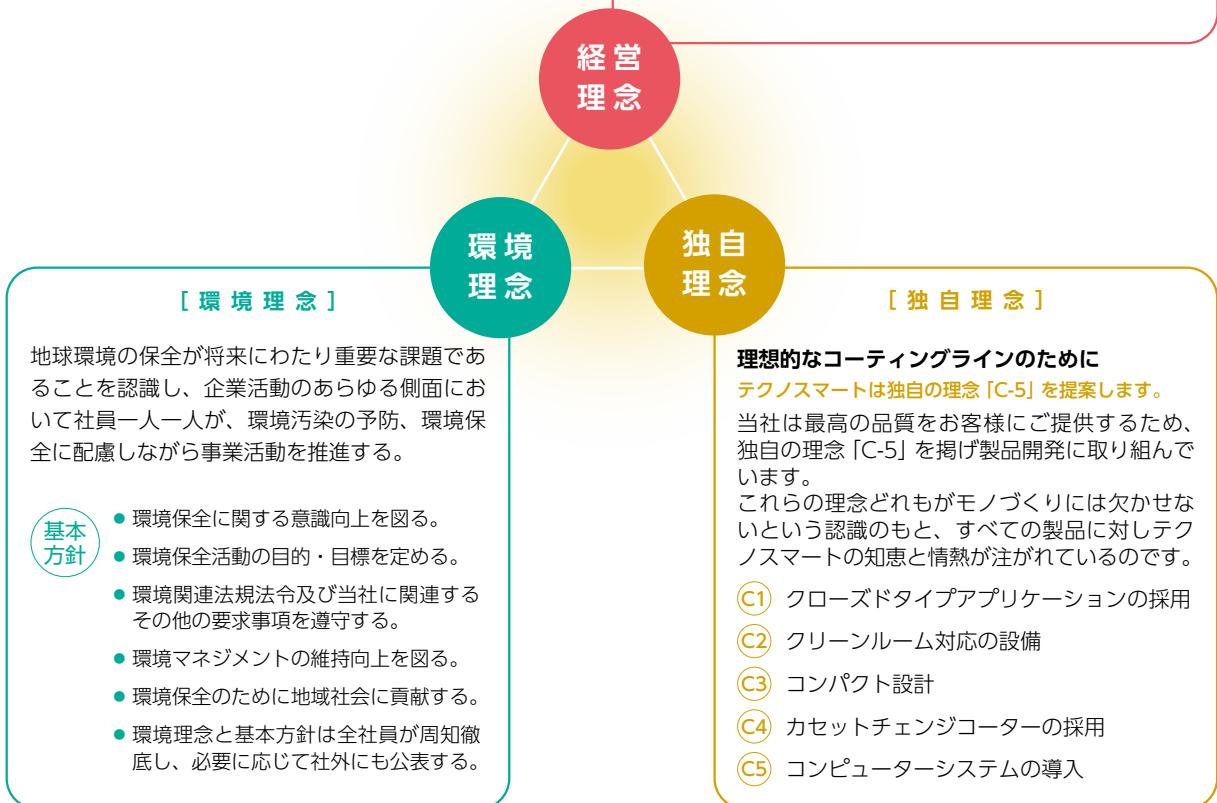
売 上 高 20,000 百万円

営 業 利 益 3,000 百万円

当期純利益 2,000 百万円

これからも生産技術の ベストソリューションを 提案してまいります。

産業社会の発展に伴う多種多様なニーズに対し、営業、実験・開発、設計、製造グループといった総合的なサポート体制で臨み、着実に成長を遂げてまいりました。



ディスプレイ関連塗工機器



液晶用表示装置に代表される光学用途フィルム塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置。

売上高比率
53.9%

エネルギー関連塗工機器



二次電池用塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置。塗工機以外の二次電池用製造装置及び関連機器。

売上高比率
16.7%

機能性フィルム関連塗工機器



一般産業資材用のフィルム用塗工装置及び関連する乾燥熱処理装置。

売上高比率
25.0%

化工機器



高機能性繊維・不織布関連の製造装置及び乾燥・熱処理装置並びに関連する付属機器。ポリマー樹脂等化工品の乾燥・熱処理装置。各種エンプラフィルム用製膜関連製造装置。

売上高比率
0.0%

電子部品関連塗工機器



半導体、FPC等電子部品関連用塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置。

売上高比率
1.0%

その他



各種関連機器の部品製造並びに改造・修理。

売上高比率
3.4%

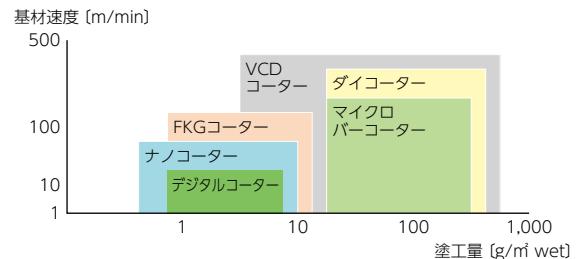
「Techno Smart Series」のご紹介

塗工・乾燥装置を標準化することで、製品開発から量産までの期間短縮ができるようになりました。

塗工乾燥装置の標準化 「Techno Smart Series」

高精度コーティング	VCDコーティング	CEDコーティング	FKGコーティング
			
高精度モーター、特殊カップリング高精度軸受の採用。	低速～高速まで幅広い塗工速度範囲に適応。	高品位塗工に対応クローズドコーティングシステム。	版目の転写がない。ロール、ドクターブレード交換が容易。

カセットチェンジ方式で容易に塗工方式の変更が可能



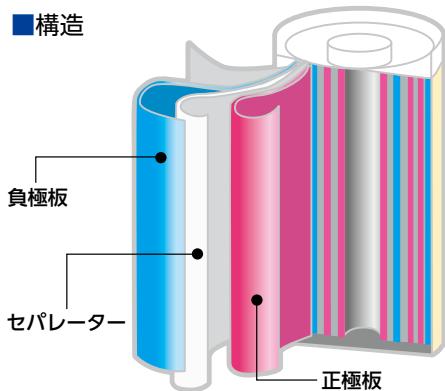
ナノコーティング	多層ダイコーティング	デジタルコーティング	スマートラボ
			
優れた薄膜塗工性能。 スジムラがない。 容易なロッド交換方式。	多段化したスロットル構造により単層～多層の同時塗工を実現。	WET10 μm以下の薄膜塗工。 複雑な任意パターン塗工。	研究、試作用途に対応した設置場所を選ばないコンパクト設計。

二次電池のご紹介

リチウムイオン二次電池の製造には、当社の装置が使用されています。

- 【用途例】
・スマートフォン、タブレット端末
・ノートパソコン、デジタルカメラ
・電気自動車、ハイブリッドカー 等

■構造



- 【二次電池 使用箇所】
・正極板・負極板・セパレーター

■主な分類

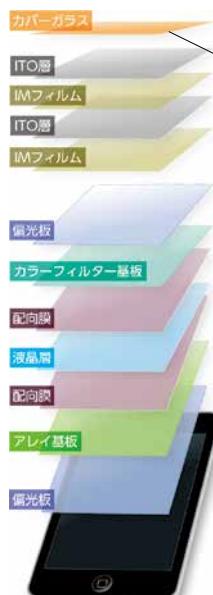
	ニッケル水素電池	リチウムイオン電池
自然放電	少ない	非常に少ない
エネルギー密度	高い	非常に高い
コスト	安い	高い
主な用途	ハイブリッドカー 電動工具	ハイブリッドカー 電気自動車 パソコン・スマートフォン

二次電池は、充電式電池ともいい、電気を蓄えて繰り返し使用することができます。

円筒型の二次電池を一例としてご紹介していますが、使用用途に応じて角形、ラミネート型の二次電池もあります。

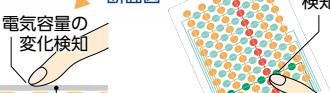
タッチパネルのご紹介

ハードコートフィルムの製造には、当社の装置が使用されています。



指先が触れた時に電極の変化をX軸・Y軸の電極列から知ることで位置を把握できます。

電気を通す透明な薄膜。真空中で金属を高温加熱し、蒸着により、電気を通す膜をつくる。



電気を通す透明な薄膜。IM(インデックスマッチング)フィルムで保護する機能を持ったものもあります。



▼使用箇所
・タブレット端末



▼使用箇所
・スマートフォン
・タブレット端末

偏光板・ITO層・IM(インデックスマッチング)フィルムの製造には、当社の装置が使用されています。

●偏光板(偏光フィルム)
特定の振動方向の光だけを通過させ、他の光を遮断させる。

●ITO層・ハードコートフィルム
タッチパネル操作には欠かせないフィルムで、透明で電気を通す性能を持つフィルムです。

●IMフィルム
ITO/パターンの視認性を低減する機能を持ち、タッチパネル画面を見やすくする機能があります。反射防止機能を持つものもあります。

トピックス

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025への寄附

2025年9月から10月に滋賀県で開催された、わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025へ寄附を行い、感謝状をいただきました。

本大会は、出場された選手の皆さんをはじめ大会関係者や県民の皆さんにとって身近で記念となり、心に残る大会になったのではないでしょか。

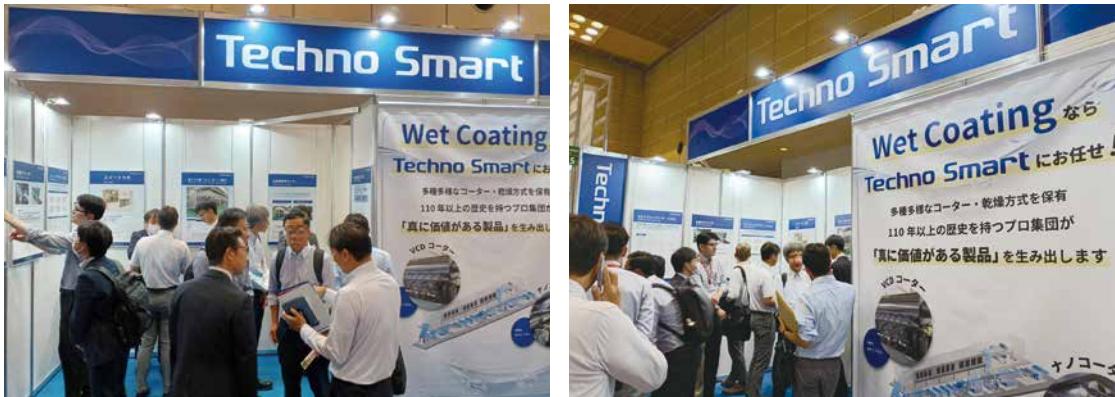
当社は地域とともに歩む企業として、スポーツの力がもたらす感動とつながりを大切にしながら、継続的な支援ができるよう努めてまいります。



第13回高機能フィルム展 – FILMTECH JAPAN – 出展

当社は、2025年5月14日～16日の3日間、インテックス大阪で開催された第13回高機能フィルム展 – FILMTECH JAPAN – に出演しました。

期間中は多数の方が当社ブースを訪問され、有意義な情報発信と顧客ニーズを収集することができました。



業績の概況

■中間貸借対照表 (2025年9月30日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
流動資産	29,234,456	流動負債	12,950,871
現金及び預金	6,734,312	買掛金	824,076
受取手形、売掛金及び契約資産	11,896,902	電子記録債務	3,908,863
電子記録債権	10,671,826	短期借入金	5,499,998
棚卸資産	591,365	未払法人税等	912,071
その他	29,584	前受金	949,633
貸倒引当金	△ 689,534	引当金	307,410
		その他	548,817
固定資産	7,803,299	固定負債	3,254,105
有形固定資産	5,294,067	長期借入金	1,666,669
建物	2,404,738	引当金	1,083,675
機械及び装置	659,578	資産除去債務	6,412
土地	2,001,209	その他	497,349
その他	228,540	負債合計	16,204,977
無形固定資産	23,617	純資産の部	
投資その他の資産	2,485,614	株主資本	18,573,120
投資有価証券	2,331,629	資本金	1,953,930
その他	153,984	資本剰余金	1,697,194
		利益剰余金	16,531,504
		自己株式	△ 1,609,508
		評価・換算差額等	2,259,657
		その他有価証券評価差額金	1,176,691
		繰延ヘッジ損益	△ 75
		土地再評価差額金	1,083,042
		純資産合計	20,832,778
資産合計	37,037,755	負債・純資産合計	37,037,755

■中間損益計算書 (2025年4月1日から2025年9月30日まで) (単位：千円)

科 目	金 額	構成比(%)	金 額	構成比(%)
売 上 高		100.0	12,547,505	100.0
売 上 原 価		54.99,855	73.0	9,191,409
売 上 総 利 益	2,033,386	27.0	3,356,096	26.7
販売費及び一般管理費	571,130	7.6	969,241	7.7
営 業 利 益	1,462,255	19.4	2,386,854	19.0
営 業 外 収 益	40,077	0.5	40,353	0.3
営 業 外 費 用	13,097	0.2	31,521	0.3
経 常 利 益	1,489,236	19.8	2,395,686	19.1
特 別 利 益	104	0.0	3,315	0.0
特 別 損 失	8	—	—	0.0
税引前中間純利益	1,489,332	19.8	2,399,002	19.1
法 人 税 等	496,858	6.6	876,975	7.0
中 間 純 利 益	992,474	13.2	1,522,026	12.1

■中間キャッシュ・フロー計算書

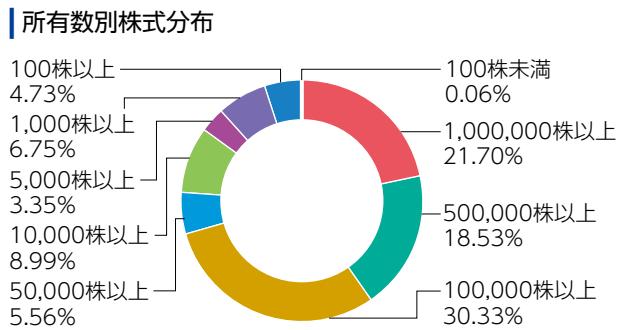
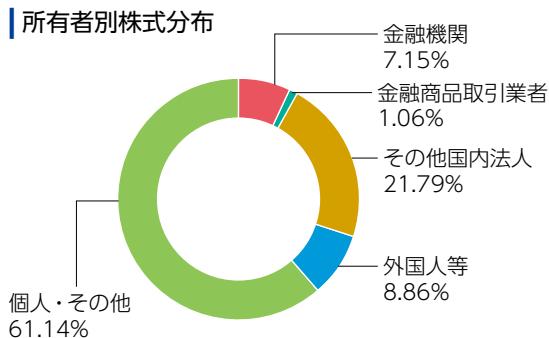
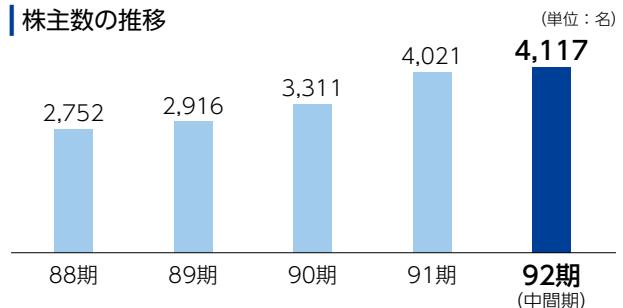
(2025年4月1日から2025年9月30日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額	金 額
前 期		当 期
営業活動によるキャッシュ・フロー		△ 194,960 △ 4,621,798
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 407,004 △ 92,268
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,939,312	4,552,305
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,934	3
現金及び現金同等物の増減額	△ 2,539,343	△ 161,758
現金及び現金同等物の期首残高	9,611,442	6,896,070
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,072,099	6,734,312

株式の状況 (2025年9月30日現在)

発行可能株式総数	25,000,000株
発行済株式の総数	12,401,720株
株主数	4,117名



■ トップページ

<https://www.technosmart.co.jp/ir/>

QRコード

click

当社ホームページではIR情報、製品情報など最新の情報がご覧いただけます。どうぞご利用ください。

会社概要

(2025年9月30日現在)

社 創	株式会社テクノスマート
業	1912年6月15日
資 本 金	19億5,393万円
本社所在地	〒541-0056 大阪市中央区久太郎町二丁目5番28号 久太郎町恒和ビル2階
電 話	06-6253-7200 (代)
従 業 員 数	254名
上場取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
証 券 コード	6246
事 業 所	滋賀事業所 [滋賀県野洲市] 東京支店 [東京都中央区]



役員 (2025年9月30日現在)

代表取締役社長	飯 田 陽 弘
常務取締役	西 宮 良 材
取締役	下 村 壽 一
取締役	高 橋 要
取締役	三 沢 浩 司
取締役*	青 木 透
監査等委員	
取締役*	岡 健 治
監査等委員	
取締役*	平 松 亜 矢 子
監査等委員	

*は社外取締役であります。

株主メモ

事業 年 度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
*その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日

単元株式数 100株

公 告 方 法 電子公告により行う
公告掲載アドレス : <https://www.technosmart.co.jp/>
(ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

(郵便物送付先／各種お問合せ先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777 (通話料無料)
〔受付時間 9:00～17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)〕
ホームページ <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

Techno Smart

Changing Life with Coating Technology



UD
FONT

ユニバーサルデザイン(UD)の考え方に基づき、より多くの人に見やすく読みまちがえにくいデザインの文字を採用しています。

